

■杉田定一 父から志託され、自由民権運動の闘士から出発し、藩閥官僚政府に対抗した有数の政治家の一人として名を残す。

すぎたていいち

尊徳報徳論・1851＝ 越前坂井郡波寄村(福井市)で、**豪農杉田家の仙十郎の長男**に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 2歳：

松下村塾・・1856＝ 5歳：母が病死。

供養のためにと自費で学校をつくった父が、身分不相応の理由で大庄屋の身分を剥奪されたため、

桜田門外変・1860＝ **9歳**：

遣欧使節・・1861＝10歳：三国の瀧谷寺に預けられ、師の道雅上人から定一の名と“鶉山”の号を受ける。

明治維新・・1868＝17歳：**維新後**，父から志を託され，

戊辰戦争終・1869＝**18歳**：
 福井の吉田東篁に学び，東京や大阪に遊学，次第に政治に傾倒し，

明治6年政変 1873＝22歳：

初の民間工場1875＝24歳：***政治家を志して上京，{采風新聞}を創刊して活動を始めると，弾圧で逮捕され，続いて{中外評論}{草莽事情}など当時の反政府的言論機関に関係し，筆禍を受け，3度入獄。**

西南戦争・・1877＝26歳：西南戦争後，

大久保暗殺・1878＝**27歳**：**土佐の板垣退助を中心とした自由民権運動に挺身，越前に自郷社(民権政社)を起し，国会開設請願運動に尽力する一方，越前七郡に展開された地租改正反対闘争の指導者として奮闘し減租を獲得。政論を「経世新論」にまとめ出版，そのために三度筆禍を受け六ヵ月の禁獄に処せられる。出獄後，**

明治14年政変1881＝30歳：**福井県が誕生，県議に当選し，初代副議長。自由党結成に参画，**

新体詩抄・・1882＝31歳：**南越自由党を結成，党の機関紙{北陸自由新聞}を刊行。越前における政治活動の拠点となったが，**

岩倉具視没・1883＝32歳：**活動を停止。上京して，自由党の党務にかかわり，**

秩父事件・・1884＝33歳：**アジアにおける国際的緊張強化の状況下に渡清，また末広重恭(鉄腸)に協力して上海の東洋学館の創設に尽力する。**

さらに，欧米を視察して，

国民之友始・1887＝**36歳**：帰国。

帝国憲法発布1889＝38歳：

帝国議会始・1890＝39歳：***第一回総選挙に当選し，以来明治の終りまで当選し続ける。**

郡司千島探検1893＝42歳：父が死去。

日清戦争始・1894＝43歳：

白馬会・・・1896＝**45歳**：

子規句歌革新1898＝47歳：**憲政党結成に参画し，大隈重信内閣の成立に際しては北海道長官に任ぜられ，**

ヒアノ国産化・1900＝49歳：**立憲政友会創立に参画して領袖となる。**

日比谷公園・1903＝52歳：**衆議院副議長，**

日露戦争終・1905＝**54歳**：

満鉄発足・・1906＝55歳：**第1次西園寺内閣の成立にあたっては衆議院議長に選ばれ，**

アヲヲ創刊・1908＝57歳：この年まで在任。立憲政友会の幹事長につくなど，

明治天皇没・1912＝61歳：***貴族院議員に勅選されるまで，政党の第一線の重鎮として活躍。**

第一次大戦始1914＝**63歳**：

他方，福井における絹織物業の発展や，九頭竜川改修工事，三国鉄道の敷設などに尽力し，県民のために尽くすところがあった。

原敬首相暗殺1921＝70歳：

関東大震災・1923＝**72歳**：

護憲三派圧勝1924＝73歳：政友本党に走ったが，

金融恐慌・・1927＝76歳：政友会に復帰，

大正から昭和の初めにかけて政界の長老としてわが国の政治に貢献し，

世界恐慌・・1929＝78歳：**没した。**